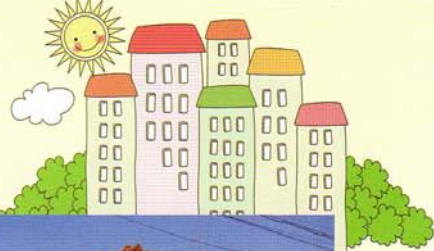


# に取り組んでいます！



## 入間川の分水路整備事業概要が示される

昨年11月26日、東京都建設局による入間川整備に係る事業説明会が行われました。主な整備内容は、入間川の安全性を早期に向上させるため道路の下を利用して、流入した雨水などを迂回させる分水路を整備するものであります。分水路への流入量は入間川の水量の50%相当の1秒当たり10トンと計画されています。ちなみに、小学校のプールは約200トンとされています。

分水路の位置は、入間川の西野橋辺りから品川道にある神代団地交差点まで下り、東南に向け団地中央から野川の小金橋の道路下を計画しています。おざくぼ貞寛市議会議員は平成17年9月4日の台風による流域約120棟の被災直後、いち早く「9.4水害対策を考える会」と都議会公明党と連携を図り、東京都に入間川の改修を強く求めて参りました。これからも早期に完成を目指し、災害に強いまちづくりに取り組んで参ります。



現地を視察するおざくぼ貞寛市議会議員

## 多摩川7丁目「電通大グラウンド」のバス停に“ベンチ”を設置

超高齢社会の到来に向けて、福山めぐみ市議会議員（現市議会副議長）は平成10年第4回定例市議会で「住環境整備の一つとしてバス停やポケットパーク（歩道などの空間）に腰掛けるベンチ等の設置」を提案し、その後計画的に整備が進められてきました。

そうした中、桜堤通りの「電通大グラウンド」のバス停は、シルバーピアを含む「都営染地一丁目アパート」に居住する、大変多くの高齢者の方々が利用しています。以前は狭い歩道の片隅に「腰掛け」が設置してありましたが、老朽化のため撤去されてしまいました。その後、多くの方から「再設置の要望」を頂いて来ましたが「歩道が狭く設置は厳しい」との事でなかなか実行されませんでした。しかし地元・福山めぐみ市議会議員の粘り強い要望を受け、この度生垣の部分を利用し2台のベンチが設置されました。利用者の皆さんからは、感謝と喜びの声が数多く寄せられています。



バス停利用者の方と記念撮影をする福山めぐみ市議会議員

## 調布駅階段の中央に手すりを設置

京王線立体交差事業が進むなか、調布駅が仮設の橋上駅舎になりました。それに伴い、調布駅にはエレベーターや階段の両脇に手すりが設置されました。しかし階段の幅が広く、安全のために「階段中央にも手すりがあれば」との利用者からの声が届けられ、公明党市議団は早速「手すりの設置」を求め、昨年12月実現しました。「階段の上がり下がり、楽になり助かった」との声が数多く寄せられています。また、平成21年度の予算要望の中では「エスカレーターの設置」を求めました。公明党市議団は、より利用しやすい駅舎を目指し取り組んで参ります。



調布駅手すり

## 携帯電話活用講座がスタート！

公明党の提案によって「携帯電話活用講座」が昨年12月10日に実施されました。内容は、携帯電話マナー講座（一般的なマナー、トラブル等に巻き込まれないための心構えなど）や携帯電話操作講習など、講座で用意された携帯電話を活用して、基本的な操作方法を身につけることができます。次回は2月に開催予定で、生涯学習交流推進課「携帯電話活用講座係」より市報・ホームページでお知らせされます。

